

連節バスを活用した「高度化バスシステム」の広告付きバス停上屋の設置について 報告

令和元年12月27日
議事5資料1
交通局路線計画課

報告事項

第54回横浜市都市美対策審議会景観審査部会（令和元年10月1日開催）を踏まえ、バス停留所上屋のデザイン検討、夜間の見え方、海への眺望について報告します。

1 バス停留所上屋のデザインについて

(1) 検討の趣旨

- 都心臨海部の回遊性向上やまちの賑わいづくりを目的として導入する高度化バスシステム（以下、同事業）は、都心臨海部において軸を形成する基幹的な交通として、観光客などの来街者にも利用されることを想定しています。
- このような方々を含む利用者に都心臨海部を快適に回遊してもらうため、同事業は、“利用者にとって、わかりやすく、使いやすいバスシステム”を目指しています。

＜高度化バスシステムの基本コンセプト＞

都心臨海部全体の回遊性を高め、市民だけでなく、観光客などの来街者にとっても、
わかりやすく、使いやすく、快適に回遊できるバスシステム

- そのため、同事業のデザインは、車両や施設等に統一感を持たせることで、明示性や魅力等を高める「トータルデザイン」の手法を取り入れ、検討してきました。
- 検討は、現状や既存施策を踏まえ、下記①～③に配慮しながら進めてきました。

① 他のバス路線の利用者の利便性確保

都心臨海部では停留所が設置できる箇所も限られることから、当事業のバス停留所上屋は他のバス路線と兼用することを視野に入れて検討する必要があります。

そのため、同事業のみならず、他のバス路線の利用者がバス停留所であると認識できるデザインにする必要があります。

② ストリートファーニチャーの考え方との整合

今回の連節バス車両は、車体色（マットメタリックブルー）を特徴としており、色を前面に出すことがわかりやすさ、使いやすさを確保する上で有効な手段となります。

一方で、これまで、ストリートファーニチャーについては、水平・垂直・無彩色を基調として展開しており、既存のバス停留所上屋についても同様となっています。そのため、デザインの検討にあたり、この考えに配慮する必要があります。

③ 景観との調和

同事業の走行ルートにおける景観計画（みなとみらい21中央地区、みなとみらい21新港地区、関内地区）では、各地区における「周辺の街並みとの調和」という視点から建築物の基調色を青系にすることが認められていません。

そのため、青色のボリュームを抑えながら、同事業の利用者にとってわかりやすく、使いやすいデザインとする必要があります。

(2) 比較検討

- まず、ストリートファーニチャーの考え方への整合にも配慮しつつ「従来のデザインの形状に収める案【案1】」を検討しました。
- しかしながら、これでは同事業が利用者にとって、わかりやすく、使いやすくするために必要な「視認性」を十分に確保することができません。
- そこで、形状を保つつ青色を前面に出し視認性を高める案【案2】、高い位置にマークを配置することにより視認性を高める案【案3】を考えました。
- 【案2】では、多くの部分を青色にすることとなり、既存景観との調和が困難であると考えました。そのため、【案3】を採用することとしました。

図1 比較検討図

デザイン案	評価
【案1】従来のデザインの形状に収める案 	▲ 視認性が不十分 視認できる方向が限られる
【案2】案1の視認性を高めるために、青色を増やし視認性を高める案 	▲ 青色が多く景観に影響
【案3】高い位置にマークを配置することにより視認性を高める案  	○ 青色のボリュームを抑えつつ様々な方向からの視認性を確保することが可能 標柱とのデザインの統一性に優れる 

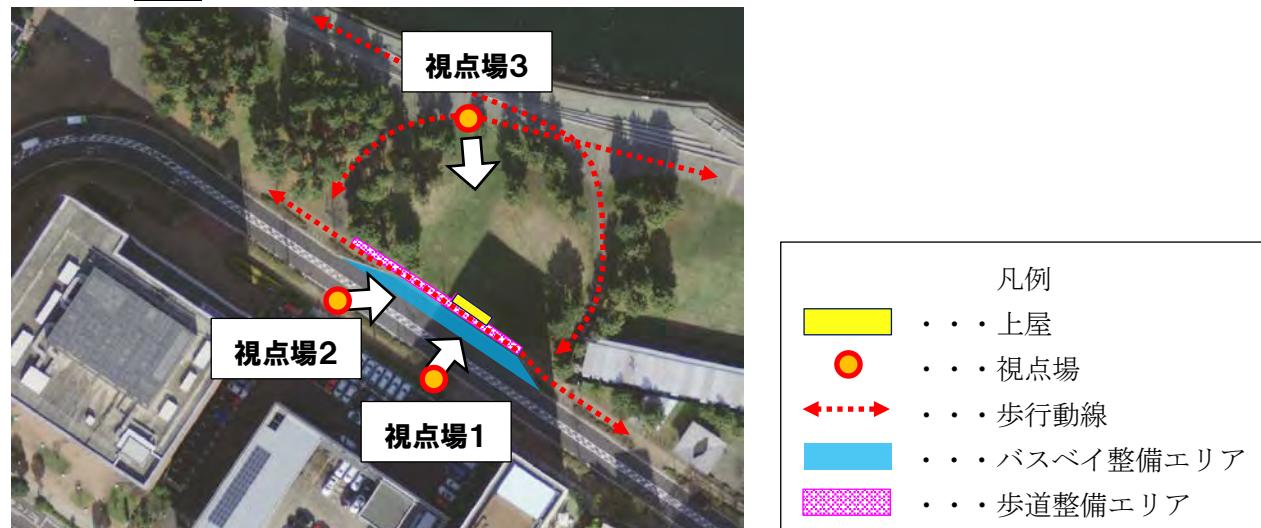


【参考】車両イメージ

2 新港ふ頭停留所上屋の夜間の見え方

夜間における景観検証図（図2）の各視点場からの見え方について、お示しします。

図2 再掲景観検証図



視点場1



視点場2



視点場3



【参考】昼間の見え方

視点場1



視点場2



視点場3



3 海への眺望について

(1) 当該バス停留所の位置の決定にあたっては、新港地区内の集客施設へのアクセスを考慮し、交通管理者等の意見も踏まえながら、検討した結果、バスベイの設置を前提に現在の位置となりました。地下埋設物等の関係から、バスベイの位置は動かすことができないため、その制約条件の中で、利便性が良く、かつ、周辺の樹木の影響が少ない現在の上屋の想定位置が、最適ではないかと考えました。

(2) 当該バス停留所の周辺は、図2に示した各視点場にとどまって海を楽しむ静的景観よりも、歩行動線上を歩きながら海を垣間見ることで感じる動的景観の場所であること、及び上屋の想定位置は、公園内のマウントアップしている箇所と重なることを踏まえると、海への眺望が大きく損なわれることはないと考えています。